

図書館学習 ～公共図書館を体験する～

学習のねらい

- ・理科を中心に行っている「森林体験学習」を深めるため、学校図書館だけでは足りない情報・知識を、より大きな図書館で得る。
- ・公共図書館で調べ学習に取り組むことで、図書館の利用の仕方や機能、特色を学ぶ。
- ・専門家から話を聞き本と接することで、「読書」への関心を高める。

主な学習活動

森林体験学習のようす



・本校では、全校生徒を対象に理科の授業を中心とした「森林体験学習」を行っている。森林の動植物や環境保全活動について、北海道森林管理局の方々の指導の下、地域の方と一緒に野外で観察を行ったり校内で説明を受けたりしながら学んでいる。

- 第 1 回 昨年種を採取・播種した木の植え替え実習
- 第 2 回 森林の生き物観察
- 第 3 回 無意根山での観察
- 第 4 回 樹木の種の採取
- 第 5 回 樹木種植え実習
- 第 6 回 活動報告会

1 学年は「総合的な学習の時間・情報」「国語・書くこと」の中で、森林体験学習に関するレポートをパソコンを使って作成している。各自が課題を設定し、図書資料やインターネットを活用した調べ学習を行い、森林体験学習に生かしている。

事前学習

・第 1 回～第 3 回の活動の中から「植樹される木々」「森林の生き物」「無意根山と動植物」について、学校図書館の資料やインターネットから情報を集め、調べ学習を行った。その学習を通して、「自分が調べること」を明確にし、「調べ足りないこと」を整理した上で、「中央図書館でさらに調べたいこと」を確認した。

中央図書館での活動



中央図書館での活動

- ① はじめに、職員から図書館の使い方の説明を受けた。その中で、分かりやすい本が揃っている「こどもの森」での本の配置や、一般書の中でも関連がありそうな本の場所を教えていただいた。また、検索機の使い方や本の貸し出し方法、マナーについても説明を受けた。



### 学校での活動



- ② 館内を歩き、どこにどのような資料が置かれているのかを確認した。その後、「こどもの森」に行き、調べ学習を行った。2階の「さっぽろ資料室」の本を利用した生徒もいた。(調べた時間は1時間強)
- ③ 昼食後の休憩時間には、興味のある本を手にとったり、実際に貸出しを受けたりする生徒もいた。
- ④ 午後から講師に「くすみ書房」の久住邦晴さんをお招きして、POP作成を行った。POPの力や作成ポイントを、実際に作られたPOPを基に説明を受けた後、各自持参した本を使い実習に入った。つまりいている箇所では助言を受け、活動はスムーズに行われた。POP作成は1時間程度しか時間を取ることができなかったため、残りは学校で作業し完成させることにした。

### 事後学習

- ・国語の授業の中で、POPを完成させた。また、「お薦めしたい本」というスピーチの授業の中で、このPOPを活用することができた。
- ・「森林体験学習」のまとめを、国語の「レポート作成」の中で行った。その際、中央図書館で調べた内容も使用していた。できあがったものは廊下に掲示し、交流を図った。  
左の写真は、「森林の生物に関するレポート」の半分で、トラップにかかった昆虫を観察したことに関する記述と、「トウキョウトガリネズミ」「エゾサンショウウオ」を調べての記述となっている。

### 授業の成果と課題

学級数の関係で学校図書館の規模が小さく、地区としても読書環境に恵まれているとは言えない本校生徒にとって、中央図書館のように規模が大きい図書館の圧倒的な蔵書量とスペースを体感できたことは、とても大きな意味があったと思う。また、学校の資料だけでは不足していた情報・知識を得られたことで、レポートの内容に厚みがついた。

POP作成では、日々本と向き合う書店員さんの生の声に触れ、提示されたPOPから読書への興味も広がっていった。

昨年度の反省から、今年は全日の授業となった。学校である程度調べ学習を行っていたので「自分は何を調べたいのか、足りない部分は何か」がかなりはっきりしていたため、この時間を有効に使えた生徒が多く、昨年度以上の成果を上げることができた。

POPについては、完成までの時間を確保することができなかったのが残念であるが、往復の時間を考えると図書館での学習時間はこれが限界でもあった。